

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約5年間（2013年1月23日～2018年1月17日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資象	株式αコース	イ、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）」（以下「オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ、ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨αコース	イ、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）」（以下「オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ、ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	株式&通貨ツインαコース	イ、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）」（以下「オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ、ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
運用方法	株式αコース	①主として、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）の受益証券を通じて、相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
	通貨αコース	①主として、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）の受益証券を通じて、相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
	株式&通貨ツインαコース	①主として、オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）の受益証券を通じて、相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式および通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）

株式αコース
通貨αコース
株式&通貨ツインαコース

運用報告書（全体版）

第24期（決算日 2015年2月17日）
第25期（決算日 2015年3月17日）
第26期（決算日 2015年4月17日）
第27期（決算日 2015年5月18日）
第28期（決算日 2015年6月17日）
第29期（決算日 2015年7月17日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）」は、このたび、第29期の決算を行ないました。

ここに、第24期～第29期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<5747>

<5748>

<5749>

★株式αコース

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S & P / A S X 200 指数 (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
1 期末(2013年 3 月18日)	円 10,780	円 90	% 8.7	11,248	% 12.5	% 0.0	% 98.5	百万円 2,055
2 期末(2013年 4 月17日)	10,993	90	2.8	11,247	△ 0.0	0.0	91.8	2,363
3 期末(2013年 5 月17日)	10,946	90	0.4	11,603	3.2	0.0	91.8	2,430
4 期末(2013年 6 月17日)	9,326	90	△14.0	9,738	△16.1	0.0	96.9	2,130
5 期末(2013年 7 月17日)	9,594	90	3.8	10,229	5.0	0.0	97.6	2,289
6 期末(2013年 8 月19日)	9,490	90	△ 0.1	10,259	0.3	0.0	98.1	2,407
7 期末(2013年 9 月17日)	9,784	90	4.0	10,826	5.5	0.0	99.0	2,486
8 期末(2013年10月17日)	10,043	90	3.6	11,103	2.6	0.0	98.4	2,537
9 期末(2013年11月18日)	10,163	90	2.1	11,344	2.2	0.0	97.9	2,499
10期末(2013年12月17日)	9,538	90	△ 5.3	10,499	△ 7.5	0.0	97.9	2,234
11期末(2014年 1 月17日)	9,686	90	2.5	10,929	4.1	0.0	98.1	2,288
12期末(2014年 2 月17日)	9,646	90	0.5	10,984	0.5	0.0	98.6	2,265
13期末(2014年 3 月17日)	9,616	90	0.6	10,888	△ 0.9	0.0	99.2	2,195
14期末(2014年 4 月17日)	10,044	90	5.4	11,613	6.7	0.0	98.7	2,102
15期末(2014年 5 月19日)	9,935	90	△ 0.2	11,641	0.2	0.0	98.7	1,923
16期末(2014年 6 月17日)	9,934	90	0.9	11,581	△ 0.5	0.0	99.1	1,920
17期末(2014年 7 月17日)	9,938	90	0.9	11,747	1.4	0.0	99.0	1,908
18期末(2014年 8 月18日)	9,917	90	0.7	11,869	1.0	0.0	99.1	1,869
19期末(2014年 9 月17日)	9,947	90	1.2	11,849	△ 0.2	0.0	99.0	1,870
20期末(2014年10月17日)	9,285	90	△ 5.8	10,966	△ 7.5	0.0	98.8	1,717
21期末(2014年11月17日)	10,433	90	13.3	12,438	13.4	0.0	99.2	1,815
22期末(2014年12月17日)	9,528	90	△ 7.8	11,065	△11.0	0.0	99.0	1,637
23期末(2015年 1 月19日)	9,627	90	2.0	11,446	3.4	0.0	98.9	1,649
24期末(2015年 2 月17日)	9,515	90	△ 0.2	12,119	5.9	0.0	99.1	1,610
25期末(2015年 3 月17日)	9,427	90	0.0	11,989	△ 1.1	0.0	99.0	1,564
26期末(2015年 4 月17日)	9,451	90	1.2	12,327	2.8	0.0	98.7	1,562
27期末(2015年 5 月18日)	9,491	90	1.4	12,279	△ 0.4	0.0	98.3	1,540
28期末(2015年 6 月17日)	9,193	90	△ 2.2	11,831	△ 3.7	0.0	99.1	1,456
29期末(2015年 7 月17日)	8,977	90	△ 1.4	11,676	△ 1.3	0.0	98.4	1,418

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) を円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

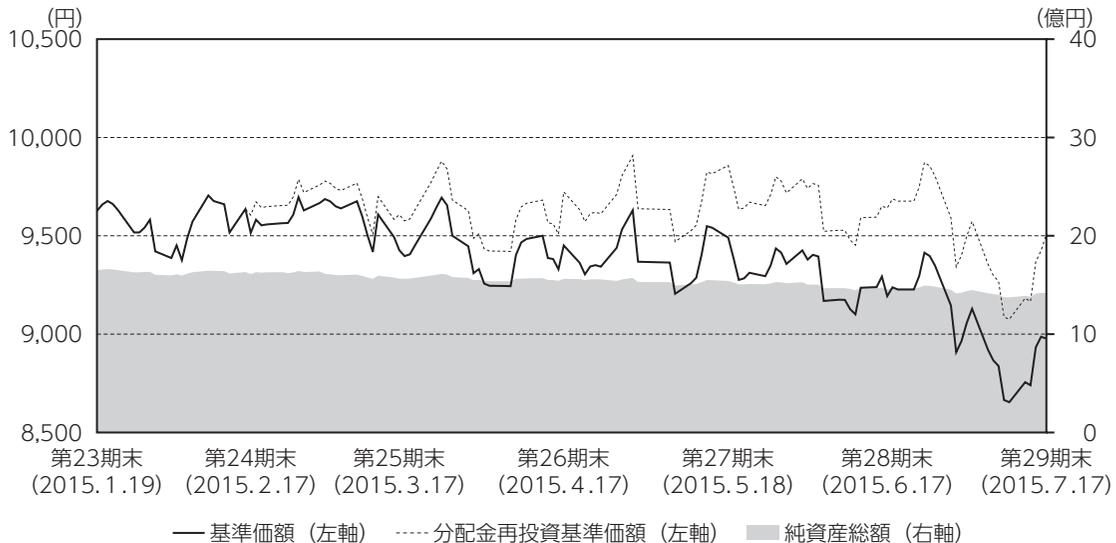
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■ 基準価額・騰落率

第24期首：9,627円

第29期末：8,977円（既払分配金540円）

騰落率：△1.2%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）II—ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）」（以下「オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）」といいます。）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）の下落が要因となり、基準価額は値下がりしました。オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）については、オーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組合わせたカバードコール戦略を構築した結果、オーストラリア株式市況が上昇したことはプラスに寄与しましたが、豪ドルが対円で下落したことがマイナスとなり、値下がりしました。株式オプション取引はマイナスに働きました。

ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型） 株式αコース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (円換算)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第24期	(期首)2015年1月19日	円 9,627	% -	11,446	% -	% 0.0	% 98.9
	1月末	9,421	△2.1	11,458	0.1	0.0	98.9
	(期末)2015年2月17日	9,605	△0.2	12,119	5.9	0.0	99.1
第25期	(期首)2015年2月17日	9,515	-	12,119	-	0.0	99.1
	2月末	9,629	1.2	12,303	1.5	0.0	99.0
	(期末)2015年3月17日	9,517	0.0	11,989	△1.1	0.0	99.0
第26期	(期首)2015年3月17日	9,427	-	11,989	-	0.0	99.0
	3月末	9,310	△1.2	12,028	0.3	0.0	98.8
	(期末)2015年4月17日	9,541	1.2	12,327	2.8	0.0	98.7
第27期	(期首)2015年4月17日	9,451	-	12,327	-	0.0	98.7
	4月末	9,630	1.9	12,452	1.0	0.0	98.7
	(期末)2015年5月18日	9,581	1.4	12,279	△0.4	0.0	98.3
第28期	(期首)2015年5月18日	9,491	-	12,279	-	0.0	98.3
	5月末	9,357	△1.4	12,108	△1.4	0.0	98.5
	(期末)2015年6月17日	9,283	△2.2	11,831	△3.7	0.0	99.1
第29期	(期首)2015年6月17日	9,193	-	11,831	-	0.0	99.1
	6月末	8,908	△3.1	11,383	△3.8	0.0	99.0
	(期末)2015年7月17日	9,067	△1.4	11,676	△1.3	0.0	98.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は上昇しました。第24期首から2015年2月下旬にかけて、ECB（欧州中央銀行）がQE（量的金融緩和）の実施を決めたことや、オーストラリアでもRBA（オーストラリア準備銀行）が予想外の利下げを決定したことなどから、大きく上昇しました。3月から4月にかけては、比較的狭いレンジ内での推移となりましたが、その後は弱含んで推移しました。特に6月に入ると、国内で予想を下回る経済指標が発表されたほか、ギリシャのデフォルト（債務不履行）懸念が高まり世界各国でリスク回避姿勢が強まったことで、下落幅を広げました。

○為替相場

豪ドルは対円で下落しました。第24期首から2015年1月下旬にかけて、同じく資源国であるカナダの中央銀行が予想外の利下げを実施したほか、ECBがQEの実施を決めてRBAの利下げに対する期待を強めたことなどから、豪ドルの対円レートは大きく下落しました。4月から5月にかけては、堅調な国内経済指標が見られる中で今後のオーストラリアの利下げ観測が後退したことなどから上昇しましたが、6月中旬から第29期末にかけては、ギリシャのデフォルトへの懸念が高まったことや中国株式市況の下落などを背景に世界各国でリスク回避姿勢が強まったことで、豪ドルの対円レートも再び下落しました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

主として、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）の受益証券の組入比率を高位に維持し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

○オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。またその中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）への投資割合を高位に維持しました。

○オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしました。

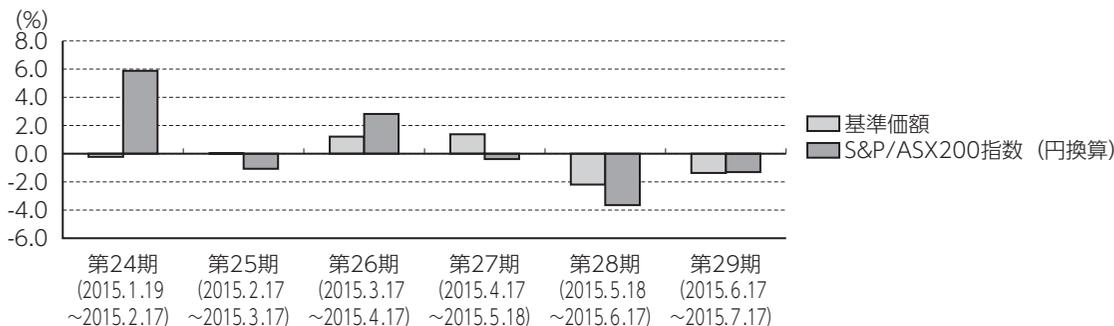
○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しています。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

第24期から第29期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ90円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
	2015年1月20日 ～2015年2月17日	2015年2月18日 ～2015年3月17日	2015年3月18日 ～2015年4月17日	2015年4月18日 ～2015年5月18日	2015年5月19日 ～2015年6月17日	2015年6月18日 ～2015年7月17日
当期分配金（税込み）（円）	90	90	90	90	90	90
対基準価額比率（％）	0.94	0.95	0.94	0.94	0.97	0.99
当期の収益（円）	90	90	90	90	90	90
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	1,200	1,212	1,219	1,229	1,238	1,242

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
(a) 経費控除後の配当等収益	97.93円	101.64円	97.39円	100.06円	98.24円	94.61円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	476.70	482.71	485.21	491.10	492.36	493.75
(d) 分配準備積立金	715.90	717.90	727.12	728.63	737.43	744.29
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,290.54	1,302.27	1,309.73	1,319.79	1,328.04	1,332.66
(f) 分配金	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,200.54	1,212.27	1,219.73	1,229.79	1,238.04	1,242.66

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

引続き、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。またその中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第24期～第29期		項 目 の 概 要
	(2015.1.20～2015.7.17)		
	金 額	比 率	
信託報酬	61円	0.649%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,383円です。
（投信会社）	(20)	(0.211)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(40)	(0.422)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.015)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	61	0.653	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2015年1月20日から2015年7月17日まで)

決算期	第24期～第29期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	1,215,401	106,302	2,587,682	228,311

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2015年1月20日から2015年7月17日まで)

第24期				第29期			
買付		売付		買付		売付	
銘柄	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (EQUITY ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	2,587,682	228,311	88

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第24期～第29期）中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年1月20日から2015年7月17日まで)

区分	第24期			第29期		
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況 D	D/C
公社債	百万円 38,139	百万円 1,999	% 5.2	百万円 -	百万円 -	% -
コール・ローン	1,398,017	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペビエーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第24期～第29期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第29期末		
	□数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (EQUITY ALPHA CLASS)	千口 16,447,897	千円 1,394,732	% 98.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第29期末		
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	98	98	100

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年7月17日現在

項目	第29期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	1,394,732	97.2
ダイワ・マネー・マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	39,860	2.8
投資信託財産総額	1,434,693	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年2月17日)、(2015年3月17日)、(2015年4月17日)、(2015年5月18日)、(2015年6月17日)、(2015年7月17日)現在

項目	第24期末	第25期末	第26期末	第27期末	第28期末	第29期末
(A) 資産	1,633,426,864円	1,580,934,658円	1,579,397,322円	1,559,319,120円	1,476,824,431円	1,434,693,358円
コール・ローン等	37,552,210	31,532,742	36,330,120	43,891,182	33,492,507	39,860,847
投資信託受益証券(評価額)	1,595,774,527	1,549,301,789	1,542,967,075	1,515,327,801	1,443,231,787	1,394,732,374
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	100,127	100,127	100,127	100,137	100,137	100,137
(B) 負債	22,656,958	16,597,243	16,896,723	18,478,871	20,404,046	16,602,488
未払収益分配金	15,235,138	14,934,473	14,878,813	14,611,503	14,258,880	14,217,001
未払解約金	5,690,829	-	225,688	2,092,629	4,464,858	760,512
未払信託報酬	1,720,515	1,642,296	1,761,025	1,732,989	1,628,646	1,563,789
その他未払費用	10,476	20,474	31,197	41,750	51,662	61,186
(C) 純資産総額(A-B)	1,610,769,906	1,564,337,415	1,562,500,599	1,540,840,249	1,456,420,385	1,418,090,870
元本	1,692,793,214	1,659,385,954	1,653,201,462	1,623,500,375	1,584,320,110	1,579,666,872
次期繰越損益金	△ 82,023,308	△ 95,048,539	△ 90,700,863	△ 82,660,126	△ 127,899,725	△ 161,576,002
(D) 受益権総口数	1,692,793,214口	1,659,385,954口	1,653,201,462口	1,623,500,375口	1,584,320,110口	1,579,666,872口
1万口当り基準価額(C/D)	9,515円	9,427円	9,451円	9,491円	9,193円	8,977円

*第23期末における元本額は1,713,636,829円、当作成期間(第24期~第29期)中における追加設定元本額は46,159,379円、同解約元本額は180,129,336円です。

*第29期末の計算口数当りの純資産額は8,977円です。

*第29期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は161,576,002円です。

■損益の状況

第24期 自2015年1月20日 至2015年2月17日 第27期 自2015年4月18日 至2015年5月18日
 第25期 自2015年2月18日 至2015年3月17日 第28期 自2015年5月19日 至2015年6月17日
 第26期 自2015年3月18日 至2015年4月17日 第29期 自2015年6月18日 至2015年7月17日

項目	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
(A) 配当等収益	18,309,163円	18,518,921円	17,613,469円	17,591,949円	17,203,781円	16,519,428円
受取配当金	18,308,141	18,517,876	17,612,586	17,590,766	17,202,761	16,518,635
受取利息	1,022	1,045	883	1,183	1,020	793
(B) 有価証券売買損益	△ 20,248,759	△ 16,622,390	3,034,211	5,177,166	△ 48,534,675	△ 34,771,297
売買益	303,333	458,425	3,481,233	5,234,817	914,979	389,635
売買損	△ 20,552,092	△ 17,080,815	△ 447,022	△ 57,651	△ 49,449,654	△ 35,160,932
(C) 信託報酬等	△ 1,730,991	△ 1,652,294	△ 1,771,748	△ 1,743,542	△ 1,638,558	△ 1,573,313
(D) 当期損益(A+B+C)	△ 3,670,587	244,237	18,875,932	21,025,573	△ 32,969,452	△ 19,825,182
(E) 前期繰越損益金	△ 100,925,438	△ 116,503,833	△ 130,269,667	△ 123,009,585	△ 113,588,108	△ 160,045,685
(F) 追加信託差損益金	37,807,855	36,145,530	35,571,685	33,935,389	32,916,715	32,511,866
(配当等相当額)	(80,696,123)	(80,101,650)	(80,216,193)	(79,731,297)	(78,006,278)	(77,996,529)
(売買損益相当額)	(△ 42,888,268)	(△ 43,956,120)	(△ 44,644,508)	(△ 45,795,908)	(△ 45,089,563)	(△ 45,484,663)
(G) 合計(D+E+F)	△ 66,788,170	△ 80,114,066	△ 75,822,050	△ 68,048,623	△ 113,640,845	△ 147,359,001
(H) 収益分配金	△ 15,235,138	△ 14,934,473	△ 14,878,813	△ 14,611,503	△ 14,258,880	△ 14,217,001
次期繰越損益金(G+H)	△ 82,023,308	△ 95,048,539	△ 90,700,863	△ 82,660,126	△ 127,899,725	△ 161,576,002
追加信託差損益金	37,807,855	36,145,530	35,571,685	33,935,389	32,916,715	32,511,866
(配当等相当額)	(80,696,123)	(80,101,650)	(80,216,193)	(79,731,297)	(78,006,278)	(77,996,529)
(売買損益相当額)	(△ 42,888,268)	(△ 43,956,120)	(△ 44,644,508)	(△ 45,795,908)	(△ 45,089,563)	(△ 45,484,663)
分配準備積立金	122,530,954	121,060,812	121,431,163	119,926,690	118,139,702	118,302,601
繰越損益金	△ 242,362,117	△ 252,254,881	△ 247,703,711	△ 236,522,205	△ 278,956,142	△ 312,390,469

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は10ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 24 期	第 25 期	第 26 期	第 27 期	第 28 期	第 29 期
(a) 経費控除後の配当等収益	16,578,172円	16,866,627円	16,102,168円	16,244,888円	15,565,223円	14,946,115円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	80,696,123	80,101,650	80,216,193	79,731,297	78,006,278	77,996,529
(d) 分配準備積立金	121,187,920	119,128,658	120,207,808	118,293,305	116,833,359	117,573,487
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	218,462,215	216,096,935	216,526,169	214,269,490	210,404,860	210,516,131
(f) 分配金	15,235,138	14,934,473	14,878,813	14,611,503	14,258,880	14,217,001
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	203,227,077	201,162,462	201,647,356	199,657,987	196,145,980	196,299,130
(h) 受益権総口数	1,692,793,214口	1,659,385,954口	1,653,201,462口	1,623,500,375口	1,584,320,110口	1,579,666,872口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 24 期	第 25 期	第 26 期	第 27 期	第 28 期	第 29 期
1 万口当り分配金	90円	90円	90円	90円	90円	90円
(単 価)	(9,515円)	(9,427円)	(9,451円)	(9,491円)	(9,193円)	(8,977円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて	
・	分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・	分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・	分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・	元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
・	普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
・	法人の受益者の場合、税率が異なります。
・	税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
・	課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2015年1月19日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1万口当りの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えくださいますようお願い申し上げます。

「期中の平均基準価額（月末値の平均値）」は9,981円です。」

★通貨αコース

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S&P/A S X 200 指数 (円換算)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受託証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
1 期末(2013年 3 月18日)	11,153	90	12.4	11,248	12.5	98.30	5.0	0.0	97.0	2,688
2 期末(2013年 4 月17日)	10,978	90	△ 0.8	11,247	△ 0.0	101.65	3.4	0.0	99.0	2,697
3 期末(2013年 5 月17日)	11,180	90	2.7	11,603	3.2	100.51	△1.1	0.0	92.5	3,012
4 期末(2013年 6 月17日)	9,344	90	△15.6	9,738	△16.1	90.94	△9.5	0.0	97.2	2,614
5 期末(2013年 7 月17日)	9,746	90	5.3	10,229	5.0	91.80	0.9	0.0	97.4	2,755
6 期末(2013年 8 月19日)	9,679	90	0.2	10,259	0.3	89.77	△2.2	0.0	97.6	2,760
7 期末(2013年 9 月17日)	10,039	90	4.6	10,826	5.5	92.31	2.8	0.0	98.6	2,838
8 期末(2013年10月17日)	10,333	90	3.8	11,103	2.6	94.40	2.3	0.0	99.0	2,779
9 期末(2013年11月18日)	10,680	90	4.2	11,344	2.2	93.97	△0.5	0.0	98.6	2,779
10 期末(2013年12月17日)	10,011	90	△ 5.4	10,499	△ 7.5	92.30	△1.8	0.0	103.5	2,450
11 期末(2014年 1 月17日)	10,272	90	3.5	10,929	4.1	92.11	△0.2	0.0	98.3	2,480
12 期末(2014年 2 月17日)	10,167	90	△ 0.1	10,984	0.5	91.76	△0.4	0.0	98.6	2,385
13 期末(2014年 3 月17日)	10,187	90	1.1	10,888	△ 0.9	91.42	△0.4	0.0	98.4	2,090
14 期末(2014年 4 月17日)	10,497	90	3.9	11,613	6.7	95.87	4.9	0.0	98.9	2,032
15 期末(2014年 5 月19日)	10,569	90	1.5	11,641	0.2	95.07	△0.8	0.0	98.9	1,618
16 期末(2014年 6 月17日)	10,589	90	1.0	11,581	△ 0.5	95.75	0.7	0.0	98.8	1,546
17 期末(2014年 7 月17日)	10,711	90	2.0	11,747	1.4	95.24	△0.5	0.0	99.7	1,526
18 期末(2014年 8 月18日)	10,676	90	0.5	11,869	1.0	95.41	0.2	0.0	99.4	1,448
19 期末(2014年 9 月17日)	10,470	90	△ 1.1	11,849	△ 0.2	97.37	2.1	0.0	99.0	1,457
20 期末(2014年10月17日)	9,791	90	△ 5.6	10,966	△ 7.5	93.38	△4.1	0.0	98.9	1,348
21 期末(2014年11月17日)	10,535	90	8.5	12,438	13.4	102.04	9.3	0.0	98.5	1,442
22 期末(2014年12月17日)	9,744	90	△ 6.7	11,065	△11.0	96.10	△5.8	0.0	99.1	1,309
23 期末(2015年 1 月19日)	10,003	90	3.6	11,446	3.4	96.65	0.6	0.0	98.8	1,342
24 期末(2015年 2 月17日)	10,422	90	5.1	12,119	5.9	92.09	△4.7	0.0	99.1	1,388
25 期末(2015年 3 月17日)	10,414	90	0.8	11,989	△ 1.1	92.53	0.5	0.0	97.6	1,492
26 期末(2015年 4 月17日)	10,623	90	2.9	12,327	2.8	92.74	0.2	0.0	98.2	1,528
27 期末(2015年 5 月18日)	10,403	90	△ 1.2	12,279	△ 0.4	95.80	3.3	0.0	98.8	1,449
28 期末(2015年 6 月17日)	10,101	90	△ 2.0	11,831	△ 3.7	95.63	△0.2	0.0	99.0	1,458
29 期末(2015年 7 月17日)	10,020	90	0.1	11,676	△ 1.3	92.15	△3.6	0.0	98.5	1,438

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) を円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

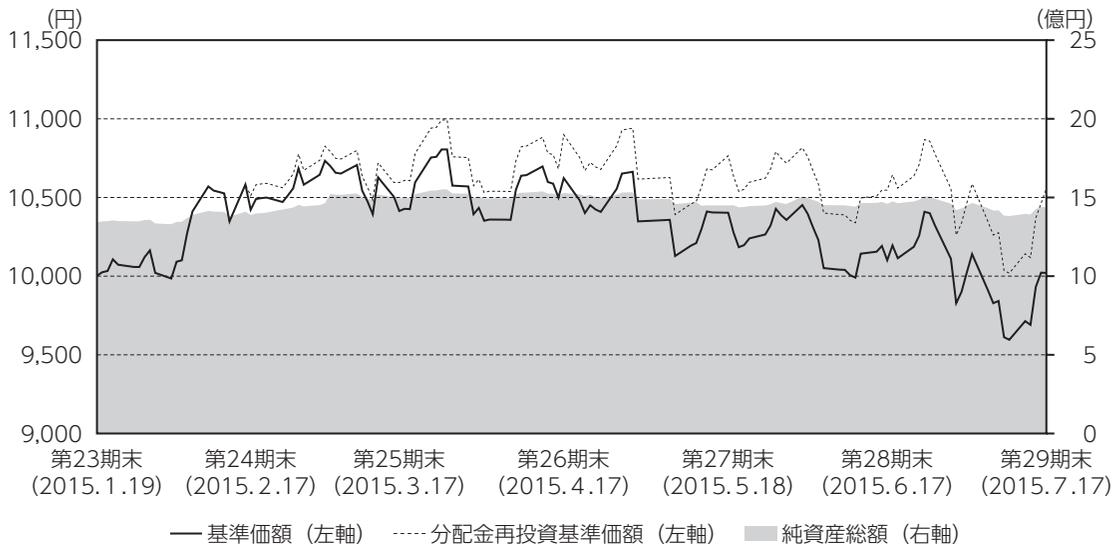
(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

*分配金を再投資するかかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第24期首：10,003円

第29期末：10,020円（既払分配金540円）

騰落率：5.5%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）IIーダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）」（以下「オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）」といいます。）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）の上昇が寄与し、基準価額は値上がりしました。オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）については、オーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を合わせたカバードコール戦略を構築した結果、豪ドルが対円で下落したことはマイナスとなりましたが、オーストラリア株式市況が上昇したことがプラスに寄与し、値上がりしました。通貨オプション取引はプラスに寄与しました。

ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A	S X 200	豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	騰 落 率	指 数 (参考指数)	換 算 騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第24期	(期首)2015年1月19日	円 10,003	% -	11,446	% -	円 96.65	% -	% 0.0	% 98.8
	1月末	10,021	0.2	11,458	0.1	92.06	△4.7	0.0	98.8
	(期末)2015年2月17日	10,512	5.1	12,119	5.9	92.09	△4.7	0.0	99.1
第25期	(期首)2015年2月17日	10,422	-	12,119	-	92.09	-	0.0	99.1
	2月末	10,581	1.5	12,303	1.5	93.17	1.2	0.0	96.8
	(期末)2015年3月17日	10,504	0.8	11,989	△1.1	92.53	0.5	0.0	97.6
第26期	(期首)2015年3月17日	10,414	-	11,989	-	92.53	-	0.0	97.6
	3月末	10,394	△0.2	12,028	0.3	92.06	△0.5	0.0	97.0
	(期末)2015年4月17日	10,713	2.9	12,327	2.8	92.74	0.2	0.0	98.2
第27期	(期首)2015年4月17日	10,623	-	12,327	-	92.74	-	0.0	98.2
	4月末	10,663	0.4	12,452	1.0	95.43	2.9	0.0	98.3
	(期末)2015年5月18日	10,493	△1.2	12,279	△0.4	95.80	3.3	0.0	98.8
第28期	(期首)2015年5月18日	10,403	-	12,279	-	95.80	-	0.0	98.8
	5月末	10,357	△0.4	12,108	△1.4	94.83	△1.0	0.0	99.2
	(期末)2015年6月17日	10,191	△2.0	11,831	△3.7	95.63	△0.2	0.0	99.0
第29期	(期首)2015年6月17日	10,101	-	11,831	-	95.63	-	0.0	99.0
	6月末	9,828	△2.7	11,383	△3.8	93.93	△1.8	0.0	99.0
	(期末)2015年7月17日	10,110	0.1	11,676	△1.3	92.15	△3.6	0.0	98.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は上昇しました。第24期首から2015年2月下旬にかけて、ECB（欧州中央銀行）がQE（量的金融緩和）の実施を決めたことや、オーストラリアでもRBA（オーストラリア準備銀行）が予想外の利下げを決定したことなどから、大きく上昇しました。3月から4月にかけては、比較的狭いレンジ内での推移となりましたが、その後は弱含んで推移しました。特に6月に入ると、国内で予想を下回る経済指標が発表されたほか、ギリシャのデフォルト（債務不履行）懸念が高まり世界各国でリスク回避姿勢が強まったことで、下落幅を広げました。

○為替相場

豪ドルは対円で下落しました。第24期首から2015年1月下旬にかけて、同じく資源国であるカナダの中央銀行が予想外の利下げを実施したほか、ECBがQEの実施を決めてRBAの利下げに対する期待を強めたことなどから、豪ドルの対円レートは大きく下落しました。4月から5月にかけては、堅調な国内経済指標が見られる中で今後のオーストラリアの利下げ観測が後退したことなどから上昇しましたが、6月中旬から第29期末にかけては、ギリシャのデフォルトへの懸念が高まったことや中国株式市況の下落などを背景に世界各国でリスク回避姿勢が強まったことで、豪ドルの対円レートも再び下落しました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

主として、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）の受益証券の組入比率を高位に維持し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

○オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。またその中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持しました。

○オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしました。

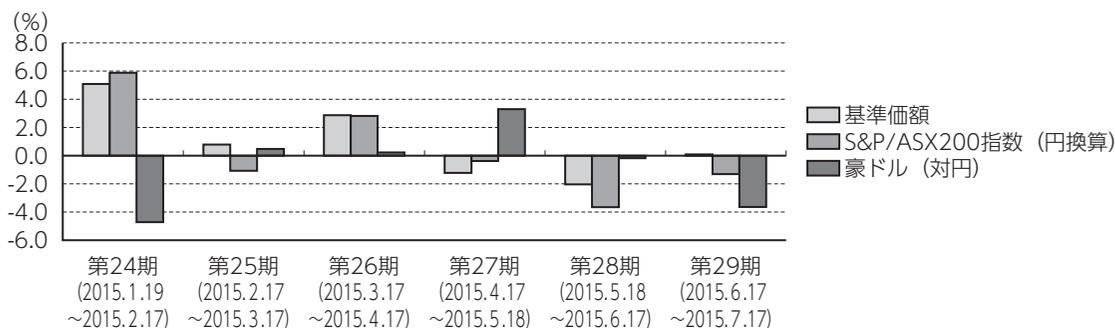
○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数と豪ドル為替レートを掲載しています。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

第24期から第29期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ90円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
	2015年1月20日 ～2015年2月17日	2015年2月18日 ～2015年3月17日	2015年3月18日 ～2015年4月17日	2015年4月18日 ～2015年5月18日	2015年5月19日 ～2015年6月17日	2015年6月18日 ～2015年7月17日
当期分配金（税込み）（円）	90	90	90	90	90	90
対基準価額比率（%）	0.86	0.86	0.84	0.86	0.88	0.89
当期の収益（円）	90	90	90	90	90	90
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	1,427	1,345	1,399	1,356	1,376	1,390

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
(a) 経費控除後の配当等収益	112.23円	103.81円	112.68円	106.74円	108.76円	104.74円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	534.51	504.38	543.54	491.69	525.03	527.03
(d) 分配準備積立金	870.32	827.48	833.68	848.49	832.35	849.11
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	1,517.07	1,435.68	1,489.91	1,446.93	1,466.14	1,480.89
(f) 分配金	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	1,427.07	1,345.68	1,399.91	1,356.93	1,376.14	1,390.89

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

引続き、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。またその中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第24期～第29期		項 目 の 概 要
	(2015.1.20～2015.7.17)		
	金 額	比 率	
信託報酬	67円	0.649%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,328円です。
（投信会社）	(22)	(0.211)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(44)	(0.423)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(2)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	67	0.653	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2015年1月20日から2015年7月17日まで)

決算期	第24期～第29期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国(邦貨建)	2,243.392	219,755	1,142.986	109,669

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2015年1月20日から2015年7月17日まで)

第24期				第29期			
買		付		売		付	
銘柄	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (CURRENCY ALPHA CLASS)(ケイマン諸島)	1,209.434	120,000	99	AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (CURRENCY ALPHA CLASS)(ケイマン諸島)	1,142.986	109,669	95

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間(第24期～第29期)中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年1月20日から2015年7月17日まで)

区分	第24期			第29期		
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況 D	D/C
公社債	百万円 38,139	百万円 1,999	% 5.2	百万円 -	百万円 -	% -
コール・ローン	1,398,017	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペビエーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間(第24期～第29期)中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第29期末		
	□数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (CURRENCY ALPHA CLASS)	千口 14,977.991	千円 1,416,603	% 98.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第23期末	第29期末	
	□数	□数	評価額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 98	千口 98	千円 100

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年7月17日現在

項目	第29期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 1,416,603	% 97.4
ダイワ・マネー・マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	37,330	2.6
投資信託財産総額	1,454,033	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年2月17日)、(2015年3月17日)、(2015年4月17日)、(2015年5月18日)、(2015年6月17日)、(2015年7月17日)現在

項目	第24期末	第25期末	第26期末	第27期末	第28期末	第29期末
(A) 資産	1,407,763,979円	1,509,848,115円	1,543,374,018円	1,475,697,978円	1,473,552,396円	1,454,033,920円
コール・ローン等	32,054,541	53,138,246	42,205,520	42,945,279	29,544,288	37,330,319
投資信託受益証券(評価額)	1,375,609,311	1,456,609,742	1,501,068,371	1,432,652,562	1,443,907,971	1,416,603,464
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	100,127	100,127	100,127	100,137	100,137	100,137
(B) 負債	19,673,037	17,549,972	14,708,800	26,331,967	14,635,446	15,410,637
未払収益分配金	11,987,042	12,896,973	12,951,681	12,539,287	12,998,878	12,921,552
未払解約金	6,235,724	3,141,600	20,960	12,076,955	-	856,940
未払信託報酬	1,441,495	1,493,527	1,707,891	1,677,245	1,588,419	1,574,412
その他未払費用	8,776	17,872	28,268	38,480	48,149	57,733
(C) 純資産総額(A-B)	1,388,090,942	1,492,298,143	1,528,665,218	1,449,366,011	1,458,916,950	1,438,623,283
元本	1,331,893,612	1,432,997,022	1,439,075,756	1,393,254,150	1,444,319,789	1,435,728,016
次期繰越増益金	56,197,330	59,301,121	89,589,462	56,111,861	14,597,161	2,895,267
(D) 受益権総口数	1,331,893,612口	1,432,997,022口	1,439,075,756口	1,393,254,150口	1,444,319,789口	1,435,728,016口
1万口当り基準価額(C/D)	10,422円	10,414円	10,623円	10,403円	10,101円	10,020円

*第23期末における元本額は1,342,013,086円、当作成期間(第24期~第29期)中における追加設定元本額は198,633,978円、同解約元本額は104,919,048円です。

*第29期末の計算口数当りの純資産額は10,020円です。

■損益の状況

第24期 自2015年1月20日 至2015年2月17日 第27期 自2015年4月18日 至2015年5月18日
 第25期 自2015年2月18日 至2015年3月17日 第28期 自2015年5月19日 至2015年6月17日
 第26期 自2015年3月18日 至2015年4月17日 第29期 自2015年6月18日 至2015年7月17日

項目	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
(A) 配当等収益	15,269,322円	16,379,160円	16,870,976円	16,560,164円	17,306,836円	16,623,228円
受取配当金	15,268,345	16,376,678	16,868,944	16,558,717	17,305,566	16,622,452
受取利息	977	2,482	2,032	1,447	1,270	776
(B) 有価証券売買損益	53,780,411	△ 5,384,880	27,441,722	△ 32,908,609	△ 46,036,031	△ 13,730,394
売買益	54,103,723	11,383	27,546,251	2,537,149	50,651	427,157
売買損	△ 323,312	△ 5,396,263	△ 104,529	△ 35,445,758	△ 46,086,682	△ 14,157,551
(C) 信託報酬等	△ 1,450,271	△ 1,502,623	△ 1,718,287	△ 1,687,457	△ 1,598,088	△ 1,583,996
(D) 当期増益金(A+B+C)	67,599,462	9,491,657	42,594,411	△ 18,035,902	△ 30,327,283	1,308,838
(E) 前期繰越増益金	△ 70,607,068	△ 14,956,686	△ 18,272,903	10,906,572	△ 19,614,506	△ 62,419,383
(F) 追加信託差増益金	71,191,978	77,663,123	78,219,635	75,780,478	77,537,828	76,927,364
(配当等相当額)	(54,634,367)	(68,234,620)	(69,625,611)	(68,505,892)	(75,831,450)	(75,667,222)
(売買損益相当額)	(16,557,611)	(9,428,503)	(8,594,024)	(7,274,586)	(1,706,378)	(1,260,142)
(G) 合計(D+E+F)	68,184,372	72,198,094	102,541,143	68,651,148	27,596,039	15,816,819
(H) 収益分配金	△ 11,987,042	△ 12,896,973	△ 12,951,681	△ 12,539,287	△ 12,998,878	△ 12,921,552
次期繰越増益金(G+H)	56,197,330	59,301,121	89,589,462	56,111,861	14,597,161	2,895,267
追加信託差増益金	71,191,978	77,663,123	78,219,635	75,780,478	77,537,828	76,927,364
(配当等相当額)	(54,634,367)	(68,234,620)	(69,625,611)	(68,505,892)	(75,831,450)	(75,667,222)
(売買損益相当額)	(16,557,611)	(9,428,503)	(8,594,024)	(7,274,586)	(1,706,378)	(1,260,142)
分配準備積立金	118,879,337	120,557,943	123,238,089	120,550,257	122,928,480	124,028,044
繰越増益金	△133,873,985	△138,919,945	△111,868,262	△140,218,874	△185,869,147	△198,060,141

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差増益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は20ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 24 期	第 25 期	第 26 期	第 27 期	第 28 期	第 29 期
(a) 経費控除後の配当等収益	14,948,667円	14,876,537円	16,216,824円	14,872,707円	15,708,748円	15,039,232円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	71,191,978	72,278,243	78,219,635	68,505,892	75,831,450	75,667,222
(d) 分配準備積立金	115,917,712	118,578,379	119,972,946	118,216,837	120,218,610	121,910,364
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	202,058,357	205,733,159	214,409,405	201,595,436	211,758,808	212,616,818
(f) 分配金	11,987,042	12,896,973	12,951,681	12,539,287	12,998,878	12,921,552
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	190,071,315	192,836,186	201,457,724	189,056,149	198,759,930	199,695,266
(h) 受益権総口数	1,331,893,612口	1,432,997,022口	1,439,075,756口	1,393,254,150口	1,444,319,789口	1,435,728,016口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 24 期	第 25 期	第 26 期	第 27 期	第 28 期	第 29 期
1 万口当り分配金	90円	90円	90円	90円	90円	90円
(単 価)	(10,422円)	(10,414円)	(10,623円)	(10,403円)	(10,101円)	(10,020円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて	
・	分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・	分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・	分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・	元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
・	普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
・	法人の受益者の場合、税率が異なります。
・	税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
・	課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2015年1月19日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1万口当りの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えくださいますようお願い申し上げます。

「期中の平均基準価額（月末値の平均値）」は10,459円です。」

★株式&通貨ツインαコース

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S&P/A S X 200 指数(円換算)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率			
1 期末(2013年 3 月18日)	円 10,674	円 140	% 8.1	11,248	% 12.5	円 98.30	% 5.0	% 0.0	% 96.9	百万円 62,928
2 期末(2013年 4 月17日)	10,471	140	△ 0.6	11,247	△ 0.0	101.65	3.4	0.0	98.4	69,290
3 期末(2013年 5 月17日)	10,415	140	0.8	11,603	3.2	100.51	△1.1	0.0	97.8	77,395
4 期末(2013年 6 月17日)	8,880	140	△13.4	9,738	△16.1	90.94	△9.5	0.0	97.0	69,012
5 期末(2013年 7 月17日)	9,139	140	4.5	10,229	5.0	91.80	0.9	0.0	97.4	72,731
6 期末(2013年 8 月19日)	8,998	140	△ 0.0	10,259	0.3	89.77	△2.2	0.0	98.0	72,838
7 期末(2013年 9 月17日)	9,160	140	3.4	10,826	5.5	92.31	2.8	0.0	98.2	74,845
8 期末(2013年10月17日)	9,296	140	3.0	11,103	2.6	94.40	2.3	0.0	98.3	76,859
9 期末(2013年11月18日)	9,443	140	3.1	11,344	2.2	93.97	△0.5	0.0	98.4	77,130
10 期末(2013年12月17日)	8,906	140	△ 4.2	10,499	△ 7.5	92.30	△1.8	0.0	98.1	73,313
11 期末(2014年 1 月17日)	9,038	140	3.1	10,929	4.1	92.11	△0.2	0.0	99.0	73,751
12 期末(2014年 2 月17日)	8,897	140	△ 0.0	10,984	0.5	91.76	△0.4	0.0	99.1	71,745
13 期末(2014年 3 月17日)	8,846	140	1.0	10,888	△ 0.9	91.42	△0.4	0.0	99.3	67,751
14 期末(2014年 4 月17日)	9,037	140	3.7	11,613	6.7	95.87	4.9	0.0	99.3	65,978
15 期末(2014年 5 月19日)	8,948	140	0.6	11,641	0.2	95.07	△0.8	0.0	99.6	63,873
16 期末(2014年 6 月17日)	8,853	140	0.5	11,581	△ 0.5	95.75	0.7	0.0	99.0	63,125
17 期末(2014年 7 月17日)	8,843	140	1.5	11,747	1.4	95.24	△0.5	0.0	99.1	62,033
18 期末(2014年 8 月18日)	8,715	140	0.1	11,869	1.0	95.41	0.2	0.0	99.4	61,075
19 期末(2014年 9 月17日)	8,512	140	△ 0.7	11,849	△ 0.2	97.37	2.1	0.0	99.3	59,464
20 期末(2014年10月17日)	7,953	140	△ 4.9	10,966	△ 7.5	93.38	△4.1	0.0	99.3	55,470
21 期末(2014年11月17日)	8,381	140	7.1	12,438	13.4	102.04	9.3	0.0	99.4	58,082
22 期末(2014年12月17日)	7,757	140	△ 5.8	11,065	△11.0	96.10	△5.8	0.0	99.4	52,613
23 期末(2015年 1 月19日)	7,798	140	2.3	11,446	3.4	96.65	0.6	0.0	99.2	52,249
24 期末(2015年 2 月17日)	7,717	140	0.8	12,119	5.9	92.09	△4.7	0.0	98.0	51,307
25 期末(2015年 3 月17日)	7,607	140	0.4	11,989	△ 1.1	92.53	0.5	0.0	98.9	50,203
26 期末(2015年 4 月17日)	7,611	140	1.9	12,327	2.8	92.74	0.2	0.0	100.1	49,602
27 期末(2015年 5 月18日)	7,457	140	△ 0.2	12,279	△ 0.4	95.80	3.3	0.0	99.0	48,090
28 期末(2015年 6 月17日)	7,217	140	△ 1.3	11,831	△ 3.7	95.63	△0.2	0.0	99.2	45,451
29 期末(2015年 7 月17日)	7,061	140	△ 0.2	11,676	△ 1.3	92.15	△3.6	0.0	98.9	43,373

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数(円換算)は、S & P / A S X 200指数(豪ドルベース)を円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200指数(豪ドルベース)の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

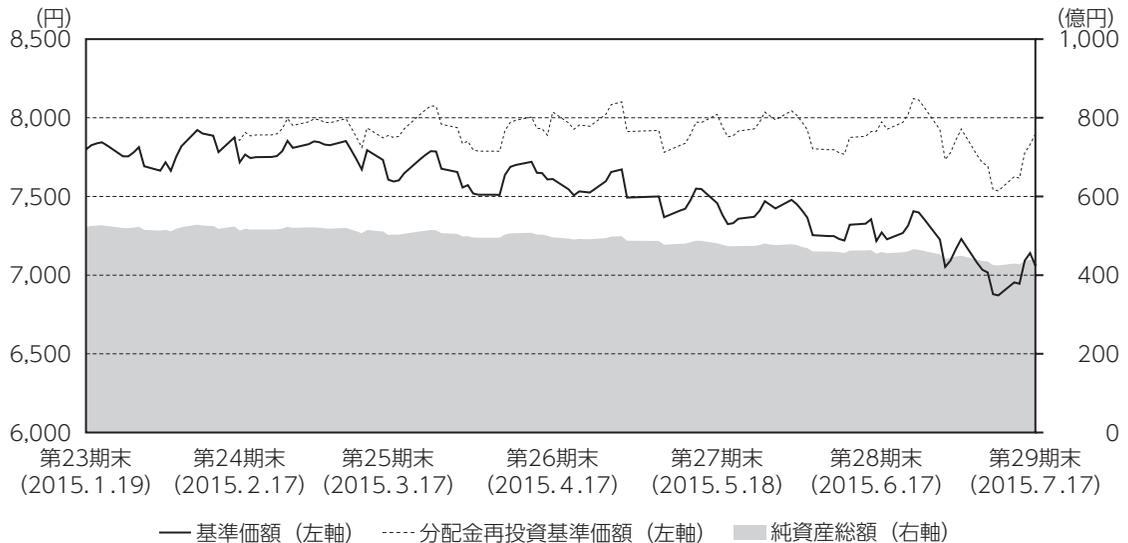
(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第24期首：7,798円

第29期末：7,061円（既払分配金840円）

騰落率：1.3%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）IIーダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）」（以下「オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）」といいます。）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）の上昇が寄与し、基準価額は値上がりしました。オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）については、オーストラリア株式への投資と株式および通貨のオプション取引を組合わせたカバードコール戦略を構築した結果、豪ドルが対円で下落したことはマイナスとなりましたが、オーストラリア株式市況が上昇したことがプラスに寄与し、値上がりしました。株式オプション取引はマイナスに、通貨オプション取引はプラスに寄与しました。

ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A	S X 200	豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	騰 落 率	指 数 (参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第24期	(期首)2015年1月19日	円 7,798	% -	11,446	% -	円 96.65	% -	% 0.0	% 99.2
	1月末	7,692	△1.4	11,458	0.1	92.06	△4.7	0.0	98.7
	(期末)2015年2月17日	7,857	0.8	12,119	5.9	92.09	△4.7	0.0	98.0
第25期	(期首)2015年2月17日	7,717	-	12,119	-	92.09	-	0.0	98.0
	2月末	7,809	1.2	12,303	1.5	93.17	1.2	0.0	96.9
	(期末)2015年3月17日	7,747	0.4	11,989	△1.1	92.53	0.5	0.0	98.9
第26期	(期首)2015年3月17日	7,607	-	11,989	-	92.53	-	0.0	98.9
	3月末	7,557	△0.7	12,028	0.3	92.06	△0.5	0.0	99.0
	(期末)2015年4月17日	7,751	1.9	12,327	2.8	92.74	0.2	0.0	100.1
第27期	(期首)2015年4月17日	7,611	-	12,327	-	92.74	-	0.0	100.1
	4月末	7,672	0.8	12,452	1.0	95.43	2.9	0.0	98.9
	(期末)2015年5月18日	7,597	△0.2	12,279	△0.4	95.80	3.3	0.0	99.0
第28期	(期首)2015年5月18日	7,457	-	12,279	-	95.80	-	0.0	99.0
	5月末	7,424	△0.4	12,108	△1.4	94.83	△1.0	0.0	99.5
	(期末)2015年6月17日	7,357	△1.3	11,831	△3.7	95.63	△0.2	0.0	99.2
第29期	(期首)2015年6月17日	7,217	-	11,831	-	95.63	-	0.0	99.2
	6月末	7,052	△2.3	11,383	△3.8	93.93	△1.8	0.0	99.7
	(期末)2015年7月17日	7,201	△0.2	11,676	△1.3	92.15	△3.6	0.0	98.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は上昇しました。第24期首から2015年2月下旬にかけて、ECB（欧州中央銀行）がQE（量的金融緩和）の実施を決めたことや、オーストラリアでもRBA（オーストラリア準備銀行）が予想外の利下げを決定したことなどから、大きく上昇しました。3月から4月にかけては、比較的狭いレンジ内での推移となりましたが、その後は弱含んで推移しました。特に6月に入ると、国内で予想を下回る経済指標が発表されたほか、ギリシャのデフォルト（債務不履行）懸念が高まり世界各国でリスク回避姿勢が強まったことで、下落幅を広げました。

○為替相場

豪ドルは対円で下落しました。第24期首から2015年1月下旬にかけて、同じく資源国であるカナダの中央銀行が予想外の利下げを実施したほか、ECBがQEの実施を決めてRBAの利下げに対する期待を強めたことなどから、豪ドルの対円レートは大きく下落しました。4月から5月にかけては、堅調な国内経済指標が見られる中で今後のオーストラリアの利下げ観測が後退したことなどから上昇しましたが、6月中旬から第29期末にかけては、ギリシャのデフォルトへの懸念が高まったことや中国株式市況の下落などを背景に世界各国でリスク回避姿勢が強まったことで、豪ドルの対円レートも再び下落しました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

主として、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）の受益証券の組入比率を高位に維持し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

○オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式および通貨オプション取引を合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。またその中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）への投資割合を高位に維持しました。

○オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組合わせた株式カバードコール戦略に加えて、通貨オプション取引を組合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしました。

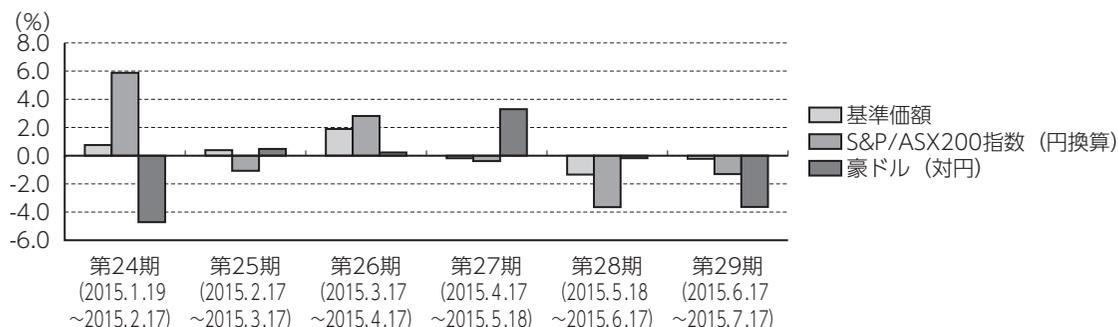
○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数と豪ドル為替レートを掲載しています。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

第24期から第29期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ140円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
	2015年1月20日 ～2015年2月17日	2015年2月18日 ～2015年3月17日	2015年3月18日 ～2015年4月17日	2015年4月18日 ～2015年5月18日	2015年5月19日 ～2015年6月17日	2015年6月18日 ～2015年7月17日
当期分配金（税込み）（円）	140	140	140	140	140	140
対基準価額比率（％）	1.78	1.81	1.81	1.84	1.90	1.94
当期の収益（円）	123	125	122	121	120	116
当期の収益以外（円）	16	14	17	18	19	23
翌期繰越分配対象額（円）	747	732	715	697	678	654

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
(a) 経費控除後の配当等収益	123.26円	125.10円	122.47円	121.44円	120.86円	116.30円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	381.30	386.04	389.60	392.47	394.30	395.88
(d) 分配準備積立金	382.95	361.82	343.73	323.56	303.28	282.66
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	887.51	872.97	855.80	837.47	818.46	794.85
(f) 分配金	140.00	140.00	140.00	140.00	140.00	140.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	747.51	732.97	715.80	697.47	678.46	654.85

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

引続き、オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組合わせた株式カバードコール戦略に加えて、通貨オプション取引を組合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。またその中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項 目	第24期～第29期		項 目 の 概 要
	(2015.1.20～2015.7.17)		
	金 額	比 率	
信託報酬	49円	0.649%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,536円です。
（投信会社）	(16)	(0.211)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(32)	(0.422)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.015)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.002	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	49	0.650	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2015年1月20日から2015年7月17日まで)

決算期	第24期～第29期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国(邦貨建)	70,936.576	5,060,117	138,070.094	9,900,149

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2015年1月20日から2015年7月17日まで)

第24期				第29期			
買付		売付		買付		売付	
銘柄	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (TWIN ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	138,070.094	9,900,149	71

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間(第24期～第29期)中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年1月20日から2015年7月17日まで)

区分	第24期			第29期		
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況 D	D/C
公社債	百万円 38,139	百万円 1,999	% 5.2	百万円 -	百万円 -	% -
コール・ローン	1,398,017	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペビエーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間(第24期～第29期)中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第29期末		
	□数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (TWIN ALPHA CLASS)	千口 622,490.375	千円 42,904,526	% 98.9

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第23期末	第29期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	982	982	1,001

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年7月17日現在

項目	第29期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	42,904,526	96.6
ダイワ・マネー・マザーファンド	1,001	0.0
コール・ローン等、その他	1,493,163	3.4
投資信託財産総額	44,398,691	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の様況

(2015年2月17日)、(2015年3月17日)、(2015年4月17日)、(2015年5月18日)、(2015年6月17日)、(2015年7月17日)現在

項目	第24期末	第25期末	第26期末	第27期末	第28期末	第29期末
(A) 資産	52,431,763,326円	51,270,332,143円	51,052,329,647円	49,260,530,199円	46,527,904,757円	44,398,691,185円
コール・ローン等	2,155,224,670	1,638,431,588	1,422,650,494	1,667,397,995	1,461,480,201	1,493,163,194
投資信託受益証券(評価額)	50,275,537,380	49,630,899,279	49,628,677,877	47,592,130,830	45,065,423,182	42,904,526,617
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	1,001,276	1,001,276	1,001,276	1,001,374	1,001,374	1,001,374
(B) 負債	1,123,996,230	1,066,487,085	1,449,872,327	1,170,410,086	1,076,223,994	1,024,817,260
未払収益分配金	930,840,179	923,998,873	912,453,374	902,810,501	881,744,868	860,040,013
未払解約金	138,001,827	89,473,121	480,225,007	211,894,059	142,454,121	115,097,786
未払信託報酬	54,985,005	52,678,855	56,673,003	55,001,260	51,139,838	48,603,353
その他未払費用	169,219	336,236	520,943	704,266	885,167	1,076,108
(C) 純資産総額(A-B)	51,307,767,096	50,203,845,058	49,602,457,320	48,090,120,113	45,451,680,763	43,373,873,925
元本	66,488,584,283	65,999,919,552	65,175,241,068	64,486,464,381	62,981,776,320	61,431,429,551
次期繰越損益金	△15,180,817,187	△15,796,074,494	△15,572,783,748	△16,396,344,268	△17,530,095,557	△18,057,555,626
(D) 受益権総口数	66,488,584,283口	65,999,919,552口	65,175,241,068口	64,486,464,381口	62,981,776,320口	61,431,429,551口
1万口当り基準価額(C/D)	7,717円	7,607円	7,611円	7,457円	7,217円	7,061円

*第23期末における元本額は66,999,995,362円、当作成期間(第24期~第29期)中における追加設定元本額は3,525,825,630円、同解約元本額は9,094,391,441円です。

*第29期末の計算口数当りの純資産額は7,061円です。

*第29期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は18,057,555,626円です。

■損益の様況

第24期 自2015年1月20日 至2015年2月17日 第27期 自2015年4月18日 至2015年5月18日
 第25期 自2015年2月18日 至2015年3月17日 第28期 自2015年5月19日 至2015年6月17日
 第26期 自2015年3月18日 至2015年4月17日 第29期 自2015年6月18日 至2015年7月17日

項目	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
(A) 配当等収益	874,741,326円	878,550,909円	846,787,378円	838,315,774円	812,547,679円	763,243,837円
受取配当金	874,696,636	878,476,555	846,754,409	838,284,020	812,522,334	763,223,577
受取利息	44,690	74,354	32,969	31,754	25,345	20,080
(B) 有価証券売買損益	△ 430,299,902	△ 633,838,052	145,230,264	△ 865,784,002	△ 1,394,309,989	△ 812,353,065
売買益	8,789,622	3,508,171	154,626,702	17,017,254	25,199,588	27,796,503
売買損	△ 439,089,524	△ 637,346,223	△ 9,396,438	△ 882,801,256	△ 1,419,509,577	△ 840,149,568
(C) 信託報酬等	△ 55,154,224	△ 52,845,872	△ 56,857,710	△ 55,184,583	△ 51,320,739	△ 48,794,294
(D) 当期損益金(A+B+C)	389,287,200	191,866,985	935,159,932	△ 82,652,811	△ 633,083,049	△ 97,903,522
(E) 前期繰越損益金	△13,602,984,311	△13,871,991,712	△14,288,746,636	△14,000,697,915	△14,554,267,403	△15,591,508,784
(F) 追加信託差損益金	△ 1,036,279,897	△ 1,191,950,894	△ 1,306,743,670	△ 1,410,183,041	△ 1,461,000,237	△ 1,508,103,307
(配当等相当額)	(2,535,214,920)	(2,547,914,573)	(2,539,231,604)	(2,530,911,674)	(2,483,426,554)	(2,431,984,311)
(売買損益相当額)	(△ 3,571,494,817)	(△ 3,739,865,467)	(△ 3,845,975,274)	(△ 3,941,094,715)	(△ 3,944,426,791)	(△ 3,940,087,618)
(G) 合計(D+E+F)	△14,249,977,008	△14,872,075,621	△14,660,330,374	△15,493,533,767	△16,648,350,689	△17,197,515,613
(H) 収益分配金	△ 930,840,179	△ 923,998,873	△ 912,453,374	△ 902,810,501	△ 881,744,868	△ 860,040,013
次期繰越損益金(G+H)	△15,180,817,187	△15,796,074,494	△15,572,783,748	△16,396,344,268	△17,530,095,557	△18,057,555,626
追加信託差損益金	△ 1,036,279,897	△ 1,191,950,894	△ 1,306,743,670	△ 1,410,183,041	△ 1,461,000,237	△ 1,508,103,307
(配当等相当額)	(2,535,214,920)	(2,547,914,573)	(2,539,231,604)	(2,530,911,674)	(2,483,426,554)	(2,431,984,311)
(売買損益相当額)	(△ 3,571,494,817)	(△ 3,739,865,467)	(△ 3,845,975,274)	(△ 3,941,094,715)	(△ 3,944,426,791)	(△ 3,940,087,618)
分配準備積立金	2,434,929,419	2,289,717,893	2,126,071,571	1,966,848,271	1,789,646,758	1,590,866,555
繰越損益金	△16,579,466,709	△16,893,841,493	△16,392,111,649	△16,953,009,498	△17,858,742,078	△18,140,318,874

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は30ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 24 期	第 25 期	第 26 期	第 27 期	第 28 期	第 29 期
(a) 経費控除後の配当等収益	819,587,112円	825,705,056円	798,253,655円	783,131,211円	761,226,960円	714,449,562円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	2,535,214,920	2,547,914,573	2,539,231,604	2,530,911,674	2,483,426,554	2,431,984,311
(d) 分配準備積立金	2,546,182,486	2,388,011,710	2,240,271,290	2,086,527,561	1,910,164,666	1,736,457,006
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	5,900,984,518	5,761,631,339	5,577,756,549	5,400,570,446	5,154,818,180	4,882,890,879
(f) 分配金	930,840,179	923,998,873	912,453,374	902,810,501	881,744,868	860,040,013
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	4,970,144,339	4,837,632,466	4,665,303,175	4,497,759,945	4,273,073,312	4,022,850,866
(h) 受益権総口数	66,488,584,283口	65,999,919,552口	65,175,241,068口	64,486,464,381口	62,981,776,320口	61,431,429,551口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 24 期	第 25 期	第 26 期	第 27 期	第 28 期	第 29 期
1 万口当り分配金	140円	140円	140円	140円	140円	140円
(単 価)	(7,717円)	(7,607円)	(7,611円)	(7,457円)	(7,217円)	(7,061円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2015年1月19日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1万口当りの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えくださいますようお願い申し上げます。

「期中の平均基準価額（月末値の平均値）は8,439円です。」

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱーダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド
株式αクラス／通貨αクラス／ツインαクラス

当ファンド（ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型））は、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱーダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド 株式αクラス／通貨αクラス／ツインαクラス」に投資しておりますが、以下の内容は全てのクラスに共通です。

（注）2015年7月17日時点で入手しうる直近の決算分を掲載しております。

貸借対照表

2014年12月31日

	(円)
資産	
担保付スワップ投資（公正価値）（取得価格：50,354,629,922円）	57,418,716,315
未収利息	24,877,953
資産計	57,443,594,268
負債	
未払報酬代理店報酬	24,877,953
負債計	24,877,953
償還可能受益証券保有者帰属純資産	57,418,716,315
帰属先別純資産	
ツインαクラス受益証券	54,348,098,764
通貨αクラス受益証券	1,375,644,918
株式αクラス受益証券	1,694,972,633
発行済受益証券数	
ツインαクラス受益証券	696,186,450.75
通貨αクラス受益証券	13,920,321.82
株式αクラス受益証券	17,879,455.60
受益証券一口当たり純資産	
ツインαクラス受益証券	78.0654
通貨αクラス受益証券	98.8228
株式αクラス受益証券	94.8000

包括利益計算書

2014年12月31日終了年度

	(円)
手数料収入	347,663,947
担保付スワップ投資純利益	4,848,732,579
投資純利益	5,196,396,526
営業費用	347,663,947
営業費用計	347,663,947
償還可能受益証券保有者帰属純資産変動額	4,848,732,579

当トラストが保有していた担保付スワップ投資

2014年12月31日時点

	取得費用 (円)	市場価値 (円)
ツインαクラス受益証券	47,812,862,842	54,348,098,764
通貨αクラス受益証券	1,138,351,637	1,375,644,918
株式αクラス受益証券	1,403,415,443	1,694,972,633
	<u>50,354,629,922</u>	<u>57,418,716,315</u>

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2014年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第29期の決算日（2015年7月17日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を33ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

（2015年1月20日から2015年7月17日まで）

買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
520	国庫短期証券 2015/6/22	3,499,975			
541	国庫短期証券 2015/9/28	2,499,997			
521	国庫短期証券 2015/6/29	2,439,900			
509	国庫短期証券 2015/5/7	2,000,000			
510	国庫短期証券 2015/5/12	2,000,000			
532	国庫短期証券 2015/8/17	2,000,000			
542	国庫短期証券 2015/10/5	2,000,000			
538	国庫短期証券 2015/9/14	1,999,998			
540	国庫短期証券 2015/9/24	1,999,998			
500	国庫短期証券 2015/3/23	1,999,996			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2015年7月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（21,201,644千口）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2015年7月17日現在							
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国債証券	千円 15,000,000	千円 14,999,983	% 69.4	% -	% -	% -	% 69.4

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2015年7月17日現在						
区 分	銘	柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	532	国庫短期証券	%	千円 2,000,000	千円 2,000,000	2015/08/17
	534	国庫短期証券	-	1,500,000	1,499,998	2015/08/24
	535	国庫短期証券	-	2,000,000	1,999,990	2015/08/31
	536	国庫短期証券	-	1,000,000	1,000,000	2015/09/07
	538	国庫短期証券	-	2,000,000	1,999,998	2015/09/14
	540	国庫短期証券	-	2,000,000	1,999,998	2015/09/24
	541	国庫短期証券	-	2,500,000	2,499,997	2015/09/28
	542	国庫短期証券	-	2,000,000	2,000,000	2015/10/05
合 計	銘 柄 数 金 額	8銘柄		15,000,000	14,999,983	

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第10期（決算日 2014年12月9日）

（計算期間 2013年12月10日～2014年12月9日）

ダイワ・マネー・マザーファンドの第10期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行いません。 ②邦貨建資産の組入れにあたっては、取得時に第二位（A-2格相当）以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の30%以下

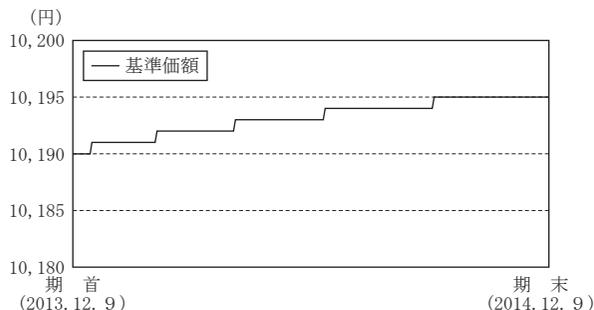
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基準価額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首) 2013年12月9日	円	%	%
	10,190	—	63.2
12月末	10,191	0.0	60.2
2014年1月末	10,191	0.0	89.9
2月末	10,192	0.0	72.7
3月末	10,192	0.0	72.7
4月末	10,193	0.0	77.5
5月末	10,193	0.0	70.4
6月末	10,194	0.0	66.7
7月末	10,194	0.0	69.9
8月末	10,194	0.0	65.1
9月末	10,195	0.0	58.8
10月末	10,195	0.0	60.7
11月末	10,195	0.0	63.8
(期末) 2014年12月9日	10,195	0.0	60.0

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,190円 期末：10,195円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

利息収入により、基準価額は値上がりしました。

◆投資環境について

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。また、2014年10月末には追加金融緩和を実施し、長期国債を中心とする資産買い入れを一層拡大しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場ではおおむね低位での金利水準が続き、無担保コール翌日物金利は0.06%台を中心に推移しました。国庫短期証券(3カ月物)の利回りは0.06%程度で始まりましたが、日銀の買い入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.01%程度まで低下して期末を迎えました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なってまいります。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

引続き、資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なってまいります。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2013年12月10日から2014年12月9日まで)

国 内	買 付 額	売 付 額
国 債 証 券	41,597,114	(35,000,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2013年12月10日から2014年12月9日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
490 国庫短期証券 2015/2/9	11,999,832		
473 国庫短期証券 2014/11/17	1,499,994		
479 国庫短期証券 2014/12/15	1,499,985		
463 国庫短期証券 2014/10/6	1,499,868		
461 国庫短期証券 2014/9/22	1,499,865		
459 国庫短期証券 2014/9/16	1,499,857		
465 国庫短期証券 2014/10/14	1,399,910		
439 国庫短期証券 2014/6/23	1,399,867		
444 国庫短期証券 2014/7/14	1,399,830		
422 国庫短期証券 2014/4/14	1,399,778		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	当 期			末		
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率	
	千円	千円	%	%	%	%
国 債 証 券	15,400,000	15,399,872	60.0	—	—	60.0

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	年 利 率	当 期		末	
			額 面 金 額	評 価 額	債 選 年 月 日	
		%	千円	千円		
国債証券	479 国庫短期証券	—	1,500,000	1,499,998	2014/12/15	
	482 国庫短期証券	—	1,000,000	999,997	2015/01/08	
	490 国庫短期証券	—	12,000,000	11,999,889	2015/02/09	
	493 国庫短期証券	—	900,000	899,986	2015/02/23	
合 計	銘柄数 金額	4銘柄	15,400,000	15,399,872		

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2014年12月9日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率		
	千円	%		
公 社 債	15,399,872	60.0		
コール・ローン等、その他	10,253,640	40.0		
投資信託財産総額	25,653,512	100.0		

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2014年12月9日現在

項 目	当 期		末	
	額	率		
	千円	%		
(A) 資 産	25,653,512,783円			
コール・ローン等	10,253,640,160			
公 社 債(評価額)	15,399,872,623			
(B) 負 債	—			
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	25,653,512,783			
元 本	25,162,158,471			
次 期 繰 越 損 益 金	491,354,312			
(D) 受 益 権 総 口 数	25,162,158,471口			
1万口当り基準価額(C/D)	10,195円			

*期首における元本額は13,660,921,100円、当期中における追加設定元本額は25,556,652,335円、同解約元本額は14,055,414,964円です。

当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ/RICI コモディティ・ファンド8,952,508円、US債券NB戦略ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)740,564円、US債券NB戦略ファンド(為替ヘッジなし/年1回決算型)1,623,350円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>米ドルコース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、ダイワファンドラップ コモディティセレクト23,865,228円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型) トリプルターンズー 日本円・コース(毎月分配型)132,757円、ダイワ米国株トラ

テジーα(通貨選択型) トリプルターンズー 豪ドル・コース(毎月分配型)643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型) トリプルターンズー ブラジル・レアル・コース(毎月分配型)4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型) トリプルターンズー 米ドル・コース(毎月分配型)12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株ファンド 一パルダムシフトー 49,096,623円、ダイワFEグローバル・バリュー株ファンド(ダイワS.M.A専用)13,896,435円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) ブラジル・レアル・コース(毎月分配型)98,290,744円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 日本円・コース(毎月分配型)23,590,527円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 米ドル・コース(毎月分配型)2,163,360円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 豪ドル・コース(毎月分配型)13,761,552円、ダイワ/U.B.SエマージングC.B.F.ファンド2,498,575円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド14,780,160円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ134,197,158円、ダイワ新興国ハイインカム・プラスII 一金積立型ー 1,972,537円、ダイワ新興国ハイインカム債券ファンド(償還条項付き) 為替ヘッジあり4,926,716円、ダイワ新興国ソリン債券ファンド(資産成長コース) 49,082,149円、ダイワ新興国ソリン債券ファンド(通貨αコース) 196,290,094円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド ーインフラ革命ー (為替ヘッジあり) 9,813,543円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド ーインフラ革命ー (為替ヘッジなし) 29,440,629円、ダイワ米国MLPファンド(毎月分配型) 米ドルコース13,732,222円、ダイワ米国MLPファンド(毎月分配型) 日本円コース3,874,449円、ダイワ米国MLPファンド(毎月分配型) 通貨αコース13,437,960円、ダイワ英国当株ツインα(毎月分配型)98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ74,252,220円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型)98,252円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) トルコ・リラ・コース(毎月分配型)2,554,212円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 通貨セレクト・コース(毎月分配型)1,178,976円、ダイワ・オーストラリア高配当株α(毎月分配型) 株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α(毎月分配型) 通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α(毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース982,029円、ブルベア・マネー・ポートフォリオIII24,367,381,676円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型) トリプルターンズー 通貨セレクト・コース(毎月分配型)98,174円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,195円です。

■損益の状況

当期 自2013年12月10日 至2014年12月9日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	6,254,653円
受 取 利 息	6,254,653
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,634
売 買 益	1,634
(C) 当 期 損 益 金 (A+B)	6,256,287
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	259,898,412
(E) 解 約 差 損 益 金	△271,101,052
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	496,300,665
(G) 合 計 (C+D+E+F)	491,354,312
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	491,354,312

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。